

RS
CLEAR

サイディングの意匠性を活かした
クリアーコーティング材。

RS

プレシヤスクリヤー

高意匠サイディング用弱溶剤形特殊シリコン樹脂クリアー

リフォーム
サミット店
Supported by KANSAI PAINT

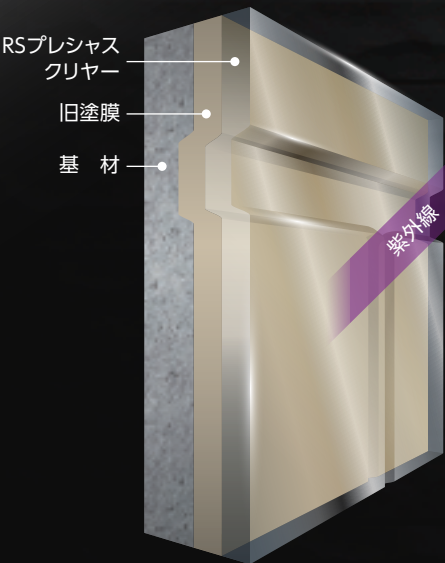
RSプレシャスクリヤー

近年、窯業系サイディングの塗替えが増えています。
RSプレシャスクリヤーは、高意匠サイディングの風合いを最大限に活かし、美観を長期に保ち、外壁を保護する高性能のクリヤーです。

1 優れた紫外線遮断性

RSプレシャスクリヤー

優れた紫外線遮断効果で旧塗膜を長期間保護



RSプレシャスクリヤー
旧塗膜
基 材

紫外線

RSプレシャスクリヤーは、紫外線の遮断効果が優れているため旧塗膜の意匠を長期間保護します。また、安定した付着性を維持することができます。

一般クリヤー

上塗を紫外線が透過することで塗膜劣化が進む



一般クリヤー
旧塗膜
基 材

紫外線

一般のクリヤーはエネルギーの強い紫外線を通過するため、旧塗膜は徐々に劣化し、色あせます。また、徐々に付着が低下し塗膜の剥がれにいたる可能性があります。



■ 塗料性状

荷 姿	15kgセット(ベース/硬化剤=12.5kg/2.5kg)
混合比	ベース/硬化剤=5/1
艶	フルグロス(艶有り)・ミディアムマット(3分つや程度)
仕上り感	平 滑
劇物表示(品名・含有量)	—
労安法上の表示有害性	ベース:キシレン・1-ブタノール 硬化剤:キシレン・1-ブタノール
有機則/特化則	ベース:第3種有機溶剤等 硬化剤:第2種有機溶剤等
消防法による危険物区分	ベース:第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤:第4類 第2石油類(非水溶性)

※ 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

■ 主な適用素材

窯業系サイディングボード

※光触媒処理品には適用できません。

※表面劣化が著しいサイディングボードには適用できません。



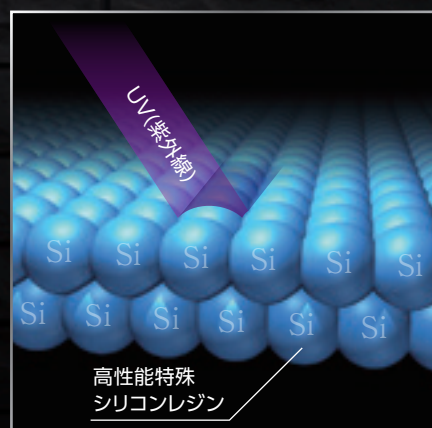
2 優れた耐候性

RSプレシャスクリヤーは、高性能特殊シリコンレジン、UVトラップ、HALSラジカルキャッチャーの3つの技術で、紫外線劣化を防止、長期間、美観を保持します。

3つの紫外線ブロック技術で外壁の美観を長期にわたり保護します。

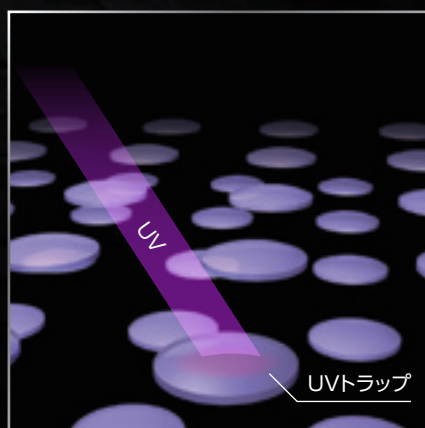
高性能特殊シリコンレジン

超強力な結合エネルギーを持つ国産「高性能特殊シリコンレジン」で紫外線劣化を阻止



UVトラップ

「高性能特殊シリコンレジン」をすり抜けた紫外線を「UVトラップ」で無害化

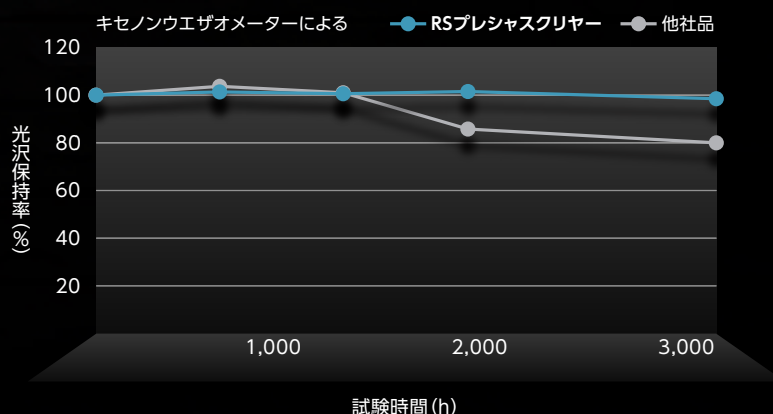


HALSラジカルキャッチャー

極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは「HALSラジカルキャッチャー」で捕獲し全て無害化



促進耐候性 試験結果



標準塗装仕様

■ 標準塗装仕様			容量 (kg)	ベース 硬化剤比	塗装 回数	塗装条件			標準所要量 (標準塗付量) kg/m ² /回	塗装間隔				
工程	塗料名					希釈剤	塗装 方法	希釈率		温度 23℃		温度 5℃		
										塗装間隔	使用時限	塗装間隔	使用時限	
下塗	ベース	RSプレシャスクリヤー フルグロスベース	12.5	5/1	1	塗料用 シンナーA	ハケ ローラー	0~5%	0.10~0.15 (0.07~0.11)	4時間~ 7日間	6時間	16時間~ 7日間	10時間	
	硬化剤	RSプレシャスクリヤー 硬化剤	2.5											
上塗	艶有り 3分つや 程度	ベース	RSプレシャスクリヤー フルグロスベース	12.5	5/1	1	塗料用 シンナーA	ハケ ローラー	0~5%	0.10~0.15 (0.07~0.11)	—	6時間	—	10時間
		硬化剤	RSプレシャスクリヤー 硬化剤	2.5										
		ベース	RSプレシャスクリヤー ミディアムマットベース	12.5										
		硬化剤	RSプレシャスクリヤー 硬化剤	2.5										

※上記の各数値は標準のものです。被塗装物の形状、素地の状態、気象条件、塗装条件により多少の幅を生じることがあります。

施工上の注意事項

■施工上のポイント

●塗料の混合割合

「RSプレシヤスクリヤー」は2液形塗料です。ベースと硬化剤は、5(ベース):1(硬化剤)の割合で混合してからご使用ください。

●希釈剤

「塗料用シンナーA」を規定の割合で希釈するか、無希釈でご使用ください。

●塗装用具及び洗浄

ハケ・ローラーで塗装できます。使用後塗装用具の洗浄には、ラッカーシンナー又はエポキシシンナーをご使用ください。

- ①光触媒のサイディングボードには適用できません。光触媒処理品には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- ②表面劣化が著しいサイディングボード面への塗装は、表面劣化部から剥離する恐れがあります。築後15年以上を目安にし、事前に施工前診断を行い、クラックなどの発生、白亜化度等の確認を行なってください。
- ③凹凸の角度が直角の基材は膜厚の確保が難しいため、塗装を避けてください。
- ④塗装後は濡れ肌になるため、既存色より濃くなりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上りをご確認ください。
- ⑤下地が溶剤で溶解または膨潤する場合は本品塗装によりチヂミが発生する危険があります。事前に下地に「カンベ塗シンV」を垂らし、問題がないことを確認してください。
- ⑥塗装面にごみ・汚れなどの付着物が残っている場合、付着不良の原因となるので、入念に取り除いてください。
- ⑦被塗面の洗浄やエフロレシエンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗にて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こす恐れがあります。
- ⑧可塑剤が多く含まれる部分への施工(塩ビ銅板、ラッピングシート、クロスなど)は避けてください。
- ⑨シーリング材は原則として、後打ちにて施工してください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。

【ミディアムマット施工上の注意事項】

- ①艶調整品を使用する場合は下塗りに艶有りをご使用ください。艶調整品を2回塗りしますと艶ムラが生じることがあります。
- ②吸い込みが著しい場合は艶ムラを生じることがあります。下塗り塗装時に表面に塗膜が残らない場合は艶有りを増し塗りし、吸い込みを止めてから上塗りを塗装してください。
- ③目地の塗付量が多いとタマリ部で白化が生じることがありますので、タマリができた場合は目地はけ、ローラーなどでムラ切りし、除去してください。
- ④艶調整品では、塗り継ぎや補修で艶ムラが出やすいので、面または目地で切って通しで塗装してください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

予 防 策	取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。 本来の目的以外に使用しないこと。 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
	目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

●ボットライフ

硬化剤混合後、6時間(23℃)を過ぎた場合は使用しないでください。

●塗料が皮膚に付着すると、カブレを起こすことがあるので、皮膚に付かないように取り扱ってください。

- ⑩下塗り材にエポキシ樹脂塗料は使用しないでください。変色、はく離の可能性があります。
- ⑪降雨、降雪、強風などの場合、また、天候不良の恐れがあるときの施工は避けてください。塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化する恐れがあります。水分の影響を受ける恐れがある場合は、塗装を避けてください。
- ⑫ベースと硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上りや作業性が低下することがあります。
- ⑬硬化剤混合後、可使時間内にご使用ください。もし、塗料表面にゲル化が確認された場合は使用を中止してください。
- ⑭塗料の希釈には、必ず「塗料用シンナーA」をご使用ください。他種のシンナーを使用すると、塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また、必要以上に希釈するとタレの原因になります。
- ⑮目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- ⑯目地部の塗料タマリや被塗面にタレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでムラ切りし、除去してください。
- ⑰汚れ、傷、釘頭などを補修塗りする場合はウレタングレード以上の外用用上塗をご使用ください。また、補修の色はクリアー塗装後の塗色に合わせてください。
- ⑱塗付量と凹凸部の膜厚を確保するため、中毛ローラー以上の毛丈があるローラーをご使用ください。
- ⑲水切り部などに塗装する場合はベンダー等をご使用ください。

- ⑤艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- ⑥下塗りと上塗りの塗装間隔が短いと艶ムラになる可能性があるため、塗装間隔を守ってください。また、面ごとにインターバルを揃えてください。
- ⑦艶ムラが発生した場合は1日以上間隔をあけて、艶調整品で補修してください。
- ⑧艶調整品は使用中に塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜攪拌しながらご使用ください。

対 応	吸 入 し た 場 合： 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。 飲 み 込 ん だ 場 合： 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。 漏 出 時 や 飛 散 し た 場 合 は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
	指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
保 管	
廃 棄	本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
施 工 後 の 安 全	本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。 例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。